

肺動脈吸引細胞診が鑑別診断に有用だった血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例

石黒 卓¹,野々上 明²,工藤昌尚³,西村ゆう⁴,清水禎彦⁵

埼玉県立循環器・呼吸器病センター呼吸器内科¹,循環器内科²,

埼玉県立がんセンター血液内科³,病理診断科⁴

埼玉県立循環器・呼吸器病センター病理診断科⁵

要旨

症例は目立った既往のない 67 歳女性.入院 2 週間前から息切れを自覚した.近医で心不全を疑われて当院を受診,血小板減少や高 LDH 血症,肺野のすりガラス陰影,肝脾腫から血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫(intravascular large B-cell lymphoma:IVLBCL)か肺動脈腫瘍塞栓症を疑った.右心カテーテル検査で軽度の肺高血圧を認め,肺動脈吸引細胞診で異型 B 細胞を認めた.骨髄生検と皮膚生検により IVLBCL と確定診断,化学療法にて改善を認めた.

短縮表題:肺動脈吸引細胞診が有用だった IVLBCL

キーワード:血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫,intravascular large B-cell lymphoma,肺動脈吸引細胞診,pulmonary artery wedge aspiration cytology,診断,diagnosis,鑑別診断,differential diagnosis,肺,lung